

(第27回)
「人気スポーツ」調査
(調査結果の概要)

世論調査・市場調査の専門機関の一般社団法人中央調査社(会長 大室 真生)は、4月5日から14日にかけて、「人気スポーツ」に関する全国意識調査を実施しました。

調査は、無作為に選んだ全国の20歳以上の男女個人を対象に個別面接聴取法で行いました(回答者数1,227人)。調査結果の概要は以下の通りで、1993年以来毎年同様の調査を行っています。

(調査内容)

1. 最も好きなスポーツ選手 — イチローが1位に返り咲き —
 2. 好きなプロスポーツ — 野球が1位、サッカーが2位、相撲が3位 —
 3. 好きな現役力士 — 貴景勝が初の1位、2位は白鵬、3位は遠藤 —
 4. 一番好きなプロ野球チーム — 巨人、阪神に次いで、広島が2年ぶりの3位 —
 5. 一番好きなJ1のサッカーチーム — 鹿島アントラーズが2年ぶりの1位 —
-
6. 東京オリンピックへの関心と楽しみな競技
— 4人に3人が『関心あり』、楽しみな競技は「競泳」が1位 —
 7. ラグビーワールドカップへの関心 — 『関心あり』は3人に1人 —
 8. 平成で最も印象に残った場面
— 1位は「大坂なおみ テニスの全米オープンで優勝」 —

(主な調査結果)

- 最も好きなスポーツ選手は、「イチロー」が2位以下に大差をつけて2年ぶりの1位に返り咲いた。2位が「羽生結弦」で、3位が「大谷翔平」となった。
- 好きなプロスポーツは、「プロ野球」が1996年から不動の1位。「プロサッカー」が2位、「大相撲」が3位で昨年と変わらず。
- 好きな現役力士は、大関に昇進した「貴景勝」が前年の13位から大きく躍進して1位になった。2位は横綱「白鵬」。3位は「遠藤」。
- 2020年の東京オリンピックについては、昨年から横ばいで4人に3人が『関心あり』と回答。楽しみな競技は、「競泳」が昨年と同じく1位。「マラソン」が2位、「体操」が3位と続いた。
- 今年秋のラグビーワールドカップ日本大会については、3人に2人が「知っている」と答えたが、『関心あり』は3人に1人だった。
- 平成で最も記憶や印象に残ったスポーツの場面は、「大坂なおみ テニスの全米オープンで優勝」が最多となった。

2019年6月

一般社団法人 中央調査社

1. 最も好きなスポーツ選手

- ・今年3月に現役を引退した「イチロー」が、2位以下を大きく引き離して2年ぶりの1位に返り咲いた。男女別でも、年代別でもすべて1位となった。
- ・昨年3位だったフィギュアスケートの「羽生結弦」は、過去最高となる2位。男女別でみると、圧倒的に女性からの人気が高いことがわかる。同じフィギュアスケートでは、「浅田真央」が昨年からの順位を落とすも7位。さらに「紀平梨花」が10位となり、初のランクイン。
- ・昨年1位だった野球の「大谷翔平」は、今年は3位となった。野球では、他にも「長嶋茂雄」が5位、「王貞治」と「松井秀喜」が10位となっている。
- ・テニスの「錦織圭」が昨年と同じ4位にランクイン。また、2018年全米オープン、2019年全豪オープンを制覇した「大坂なおみ」が昨年の12位から6位に上昇。
- ・サッカーの「三浦知良」が8位で2013年以来となるトップ10入り。
- ・水泳の「池江璃花子」が初めて9位にランクインした。

質問：「プロ・アマ、現役・引退、国内・国外を問わず、あなたが好きなスポーツ選手を1人だけ、何の選手かもあわせて教えてください。」（自由回答）

▼最も好きなスポーツ選手（上位10位）

			今回(2019年) (n=917)		2018年 (n=898)		2017年 (n=918)		2016年 (n=857)		2015年 (n=911)	
1位	イチロー	野球	240人	26.2%	②	11.1%	①	16.9%	①	22.4%	②	12.8%
2位	羽生結弦	フィギュアスケート	73人	8.0%	③	11.0%	⑤	4.7%	⑥	2.0%	④	4.2%
3位	大谷翔平	野球	59人	6.4%	①	21.7%	⑥	3.4%	④	3.5%	⑦	2.6%
4位	錦織圭	テニス	45人	4.9%	④	4.1%	②	13.0%	②	16.9%	①	18.4%
5位	長嶋茂雄	野球	37人	4.0%	⑥	2.9%	⑦	3.2%	⑤	3.3%	⑤	3.8%
6位	大坂なおみ	テニス	36人	3.9%	⑫	0.9%	—	—	—	—	—	—
7位	浅田真央	フィギュアスケート	33人	3.6%	⑤	3.2%	③	7.5%	③	5.1%	③	7.7%
8位	三浦知良	サッカー	15人	1.6%	⑫	0.9%	⑬	1.3%	⑱	0.8%	⑫	1.3%
9位	池江璃花子	水泳	12人	1.3%	—	—	—	—	—	—	—	—
10位	王貞治	野球	11人	1.2%	⑮	0.8%	⑪	1.7%	⑪	1.5%	⑨	2.0%
〃	紀平梨花	フィギュアスケート	11人	1.2%	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	松井秀喜	野球	11人	1.2%	⑧	1.3%	⑫	1.6%	⑬	1.2%	⑪	1.5%

(注) —は上位21位以下、○数字は順位。

▼男女別順位（上位10位）

男性(n=443)				女性(n=474)			
1位	イチロー	151人	34.1%	1位	イチロー	89人	18.8%
2位	大谷翔平	28人	6.3%	2位	羽生結弦	64人	13.5%
3位	長嶋茂雄	27人	6.1%	3位	浅田真央	32人	6.8%
4位	錦織圭	21人	4.7%	〃	大坂なおみ	32人	6.8%
5位	王貞治	10人	2.3%	5位	大谷翔平	31人	6.5%
6位	羽生結弦	9人	2.0%	6位	錦織圭	24人	5.1%
〃	三浦知良	9人	2.0%	7位	紀平梨花	10人	2.1%
〃	松井秀喜	9人	2.0%	〃	長嶋茂雄	10人	2.1%
9位	原辰徳	7人	1.6%	9位	池江璃花子	8人	1.7%
10位	松山英樹	6人	1.4%	10位	三浦知良	6人	1.3%

▼年代別順位（上位3位）

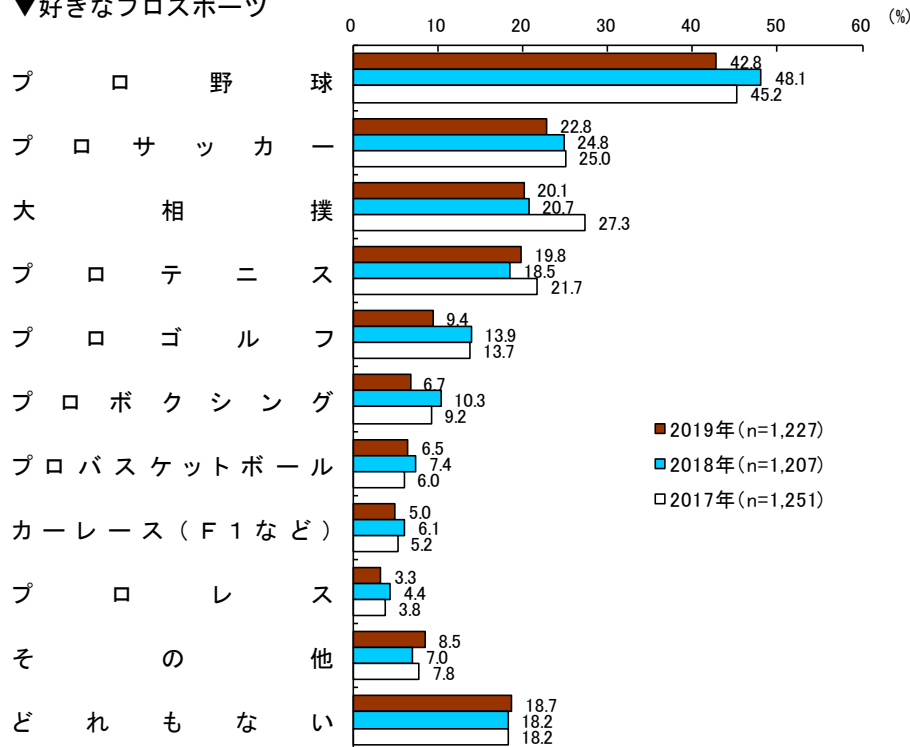
20代(n=86)				50代(n=149)			
1位	イチロー	23人	26.7%	1位	イチロー	33人	22.1%
2位	錦織圭	7人	8.1%	2位	羽生結弦	13人	8.7%
3位	大谷翔平	6人	7.0%	3位	大坂なおみ	11人	7.4%
				〃	大谷翔平	11人	7.4%
30代(n=126)				60代(n=162)			
1位	イチロー	38人	30.2%	1位	イチロー	47人	29.0%
2位	大谷翔平	9人	7.1%	2位	長嶋茂雄	16人	9.9%
3位	大坂なおみ	7人	5.6%	3位	羽生結弦	13人	8.0%
40代(n=171)				70歳以上(n=223)			
1位	イチロー	47人	27.5%	1位	イチロー	52人	23.3%
2位	羽生結弦	14人	8.2%	2位	羽生結弦	25人	11.2%
3位	錦織圭	9人	5.3%	3位	大谷翔平	16人	7.2%

2. 好きなプロスポーツ

- ・「プロ野球」の1位が1996年から続いており、「プロサッカー」が昨年と同じ2位となった。
- ・「大相撲」は2年連続の3位だが、4位の「プロテニス」とは僅差となっている。

質問：「あなたが好きなプロスポーツを、この中（回答票＝(ア) 大相撲、(イ) プロ野球、(ウ) プロサッカー、(エ) プロバスケットボール、(オ) プロゴルフ、(カ) プロテニス、(キ) プロレス、(ク) プロボクシング、(ケ) カーレース（F1など））からいくつでもあげてください。」（複数回答）

▼好きなプロスポーツ



3. 好きな現役力士

- ・今年の春場所後に大関昇進を決めた「貴景勝」が、昨年の13位から大きく順位を上げ、初の1位となった。
- ・横綱「白鵬」が2位。「遠藤」が3位だった。

質問：「あなたが好きな現役の力士を3人まであげてください。」（自由回答、複数回答）

▼好きな現役力士(上位10位)

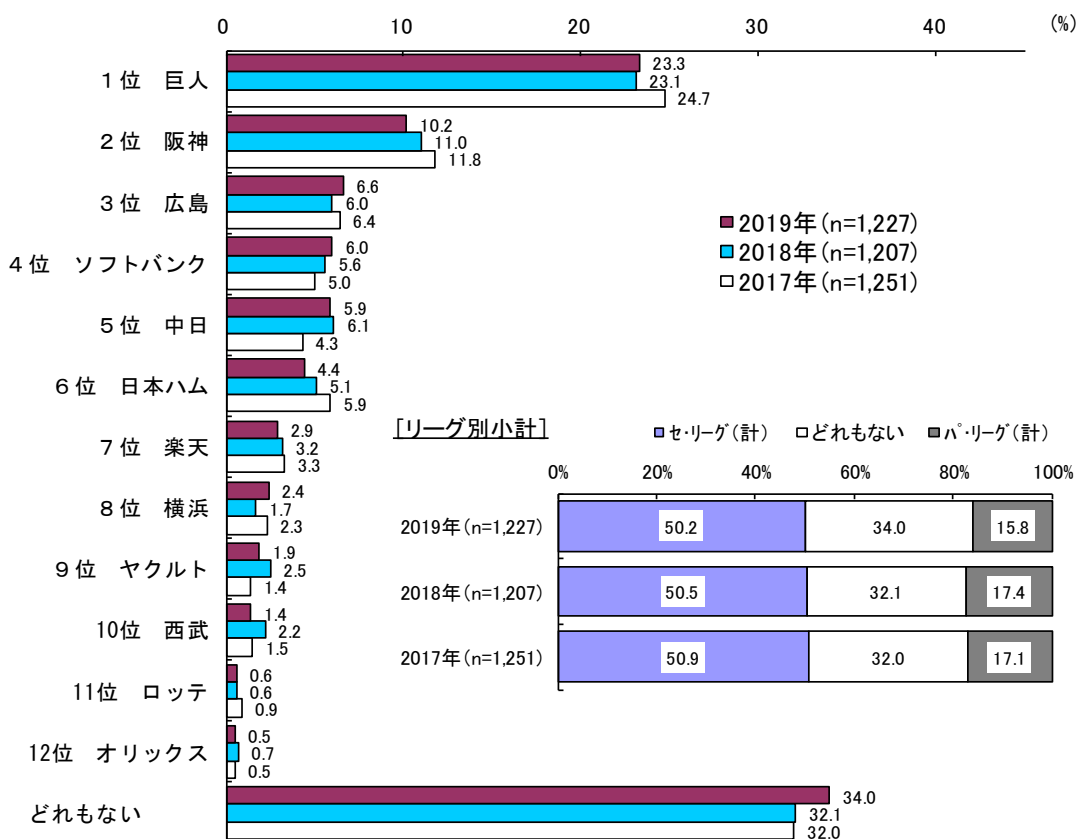
今回(2019年) (n=1,227)		2018年 (n=1,207)		2017年 (n=1,251)		2016年 (n=1,201)		2015年 (n=1,212)	
1位	貴景勝 32.0%	⑬	1.2%	—	—%	—	—%	—	—%
2位	白鵬 17.5%	③	13.5%	②	21.6%	①	25.8%	①	27.8%
3位	遠藤 9.3%	②	13.7%	③	13.0%	④	9.4%	②	16.3%
4位	高安 8.6%	④	7.5%	④	11.1%	⑪	1.7%	—	—%
5位	豪栄道 6.4%	⑤	4.6%	⑧	3.8%	⑥	4.1%	⑦	5.1%
6位	御嶽海 5.4%	⑨	3.0%	⑩	2.6%	⑨	2.2%	—	—%
7位	琴奨菊 4.6%	⑦	3.9%	⑤	6.9%	③	14.9%	⑧	4.1%
8位	鶴竜 3.4%	⑥	4.2%	⑪	2.2%	⑦	3.2%	⑩	2.6%
9位	宇良 2.8%	⑧	3.7%	⑥	5.7%	⑭	0.9%	—	—%
10位	栃ノ心 2.4%	⑩	2.3%	—	—%	—	—%	—	—%
1人も浮かばない 46.8%		58.6%		37.9%		50.5%		49.9%	

4. 一番好きなプロ野球チーム

- ・1993年の調査開始以来1位「巨人」、2位「阪神」は不動。
- ・セ・リーグ3連覇を果たした「広島」が3位。昨年3位だった「中日」は5位。
- ・パ・リーグからは、2年連続日本シリーズ優勝の「ソフトバンク」が4位に入り、「日本ハム」が6位で続いている。
- ・地区別では、“北海道”の「日本ハム」、「東海」の「中日」、「近畿・阪神」の「阪神」、「中国」の「広島」、「九州」の「ソフトバンク」が、例年どおり、各々の地元において1位となっている。東北でも、「巨人」と同率ながら、「楽天」が1位タイである。

質問：「日本のプロ野球チームの中で、あなたが一番好きなチームはどこですか。」（自由回答）

▼一番好きなプロ野球チーム



▼地区別・好きなチーム ベスト3

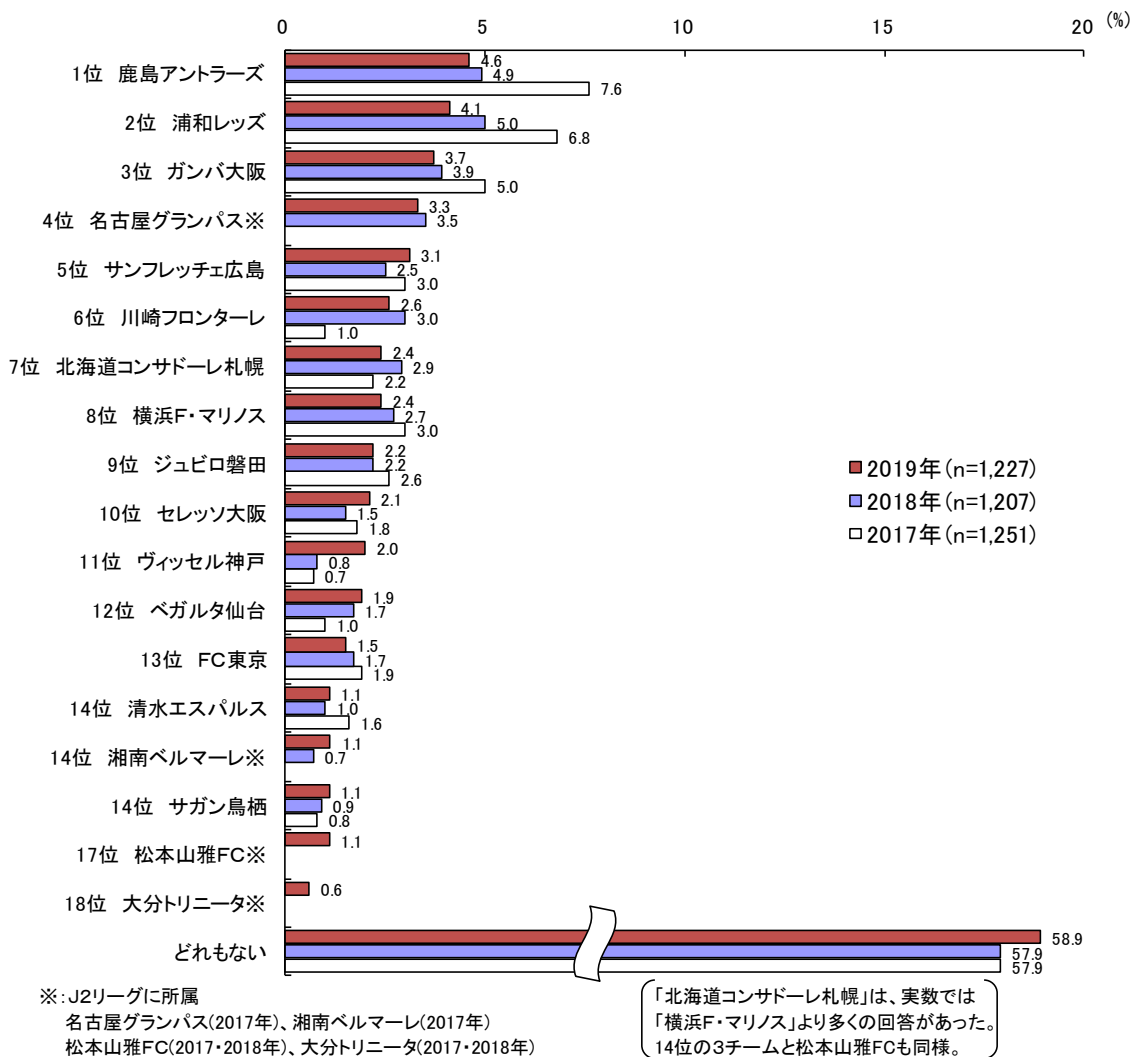
●北海道 (n=52)	●東北 (n=89)	●関東・京浜 (n=396)	●北陸・甲信越 (n=84)
1位 日本ハム 65.4%	1位 巨人 29.2%	1位 巨人 32.6%	1位 巨人 31.0%
2位 巨人 11.5%	〃 楽天 29.2%	2位 横浜 5.8%	2位 広島 4.8%
3位 阪神 1.9%	3位 広島 3.4%	3位 広島 5.6%	〃 ヤクルト 4.8%
〃 広島 1.9%			
〃 中日 1.9%			
〃 オリックス 1.9%			
●東海 (n=153)	●近畿・阪神 (n=191)	●中国 (n=75)	●四国 (n=43)
1位 中日 38.6%	1位 阪神 41.4%	1位 広島 46.7%	1位 巨人 25.6%
2位 巨人 16.3%	2位 巨人 15.2%	2位 巨人 17.3%	2位 阪神 18.6%
3位 阪神 3.9%	3位 広島 2.6%	3位 阪神 5.3%	3位 広島 14.0%
●九州 (n=144)			
1位 ソフトバンク 41.7%			
2位 巨人 14.6%			
3位 阪神 4.2%			

5. 一番好きなJ1のサッカーチーム

- ・「鹿島アントラーズ」が2年ぶりに1位となった。昨年1位の「浦和レッズ」が2位。
- ・「ガンバ大阪」の3位、「名古屋グランパス」の4位は昨年と変わらず。
- ・「サンフレッチェ広島」が5位に浮上。昨シーズンJ1連覇を果たした「川崎フロンターレ」は、ひとつ順位を落とすも6位と人気を維持している。
- ・地区別では、それぞれの地区にホームタウンのあるチームがいずれも1位となっている。

質問：（回答票）「日本のプロサッカーリーグ（Jリーグ）のうち、現在のJ1で、あなたが一番好きなチームはどこですか。」

▼一番好きなJ1のサッカーチーム



▼地区別・好きなチーム ベスト3

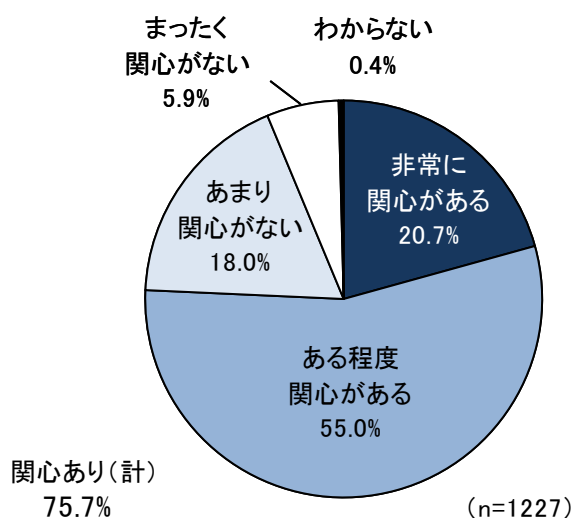
●北海道 (n=52) 1位 北海道コンサドーレ札幌 46.2% 2位 サンフレッチェ広島 1.9% // ヴィッセル神戸 1.9% // FC東京 1.9%	●東北 (n=89) 1位 ベガルタ仙台 22.5% 2位 鹿島アントラーズ 6.7% 3位 浦和レッズ 3.4%	●関東・京浜 (n=396) 1位 浦和レッズ 9.8% 2位 鹿島アントラーズ 9.3% 3位 横浜F・マリノス 5.3%	●北陸・甲信越 (n=84) 1位 松本山雅FC 11.9% 2位 鹿島アントラーズ 4.8% 3位 ガンバ大阪 2.4% // 川崎フロンターレ 2.4%
●東海 (n=153) 1位 名古屋グランパス 23.5% 2位 ジュビロ磐田 13.1% 3位 清水エスパルス 7.2%	●近畿・阪神 (n=191) 1位 ガンバ大阪 14.1% 2位 セレッソ大阪 11.0% 3位 ヴィッセル神戸 5.8%	●中国・四国 (n=118) 1位 サンフレッチェ広島 25.4% 2位 ガンバ大阪 5.9% 3位 セレッソ大阪 2.5%	●九州 (n=144) 1位 サガン鳥栖 8.3% 2位 大分トリニータ 4.2% 3位 鹿島アントラーズ 3.5% // 川崎フロンターレ 3.5%

6. 東京オリンピックへの関心と楽しみな競技

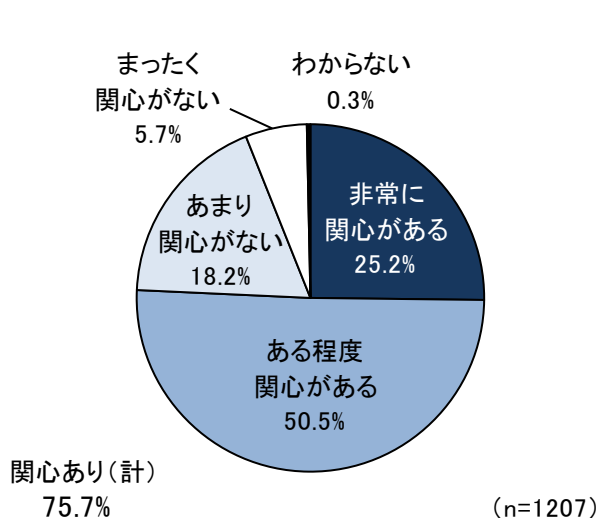
- ・2020年の東京オリンピックについては、「非常に関心がある」が20.7%で昨年より減少、「ある程度関心がある」が55.0%で昨年より増加した。4人に3人が『関心あり(計)』と答えており、昨年と同水準となっている。
- ・年代別では、女性の50代で『関心あり(計)』が85.4%と最も高く、男性の40～50代も8割を超える結果となった。

質問：(回答票)「来年、東京で夏季オリンピックが開催されます。あなたはどのくらい関心がありますか。」

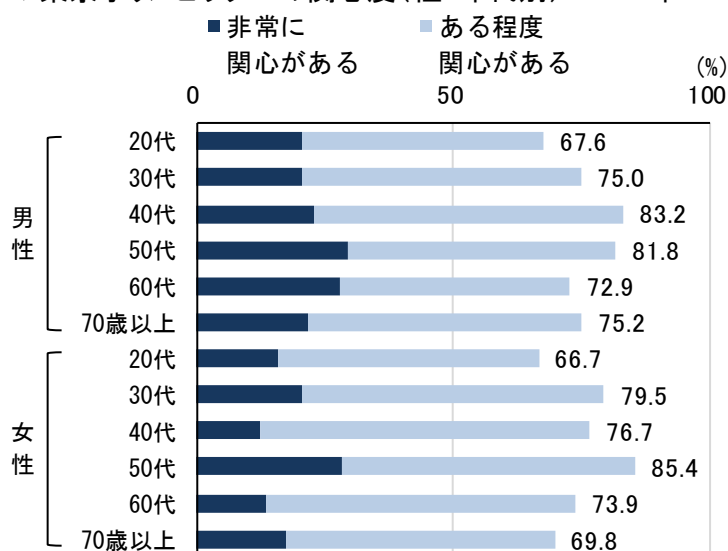
▼東京オリンピックへの関心度 2019年



▼【参考】東京オリンピックへの関心度 2018年



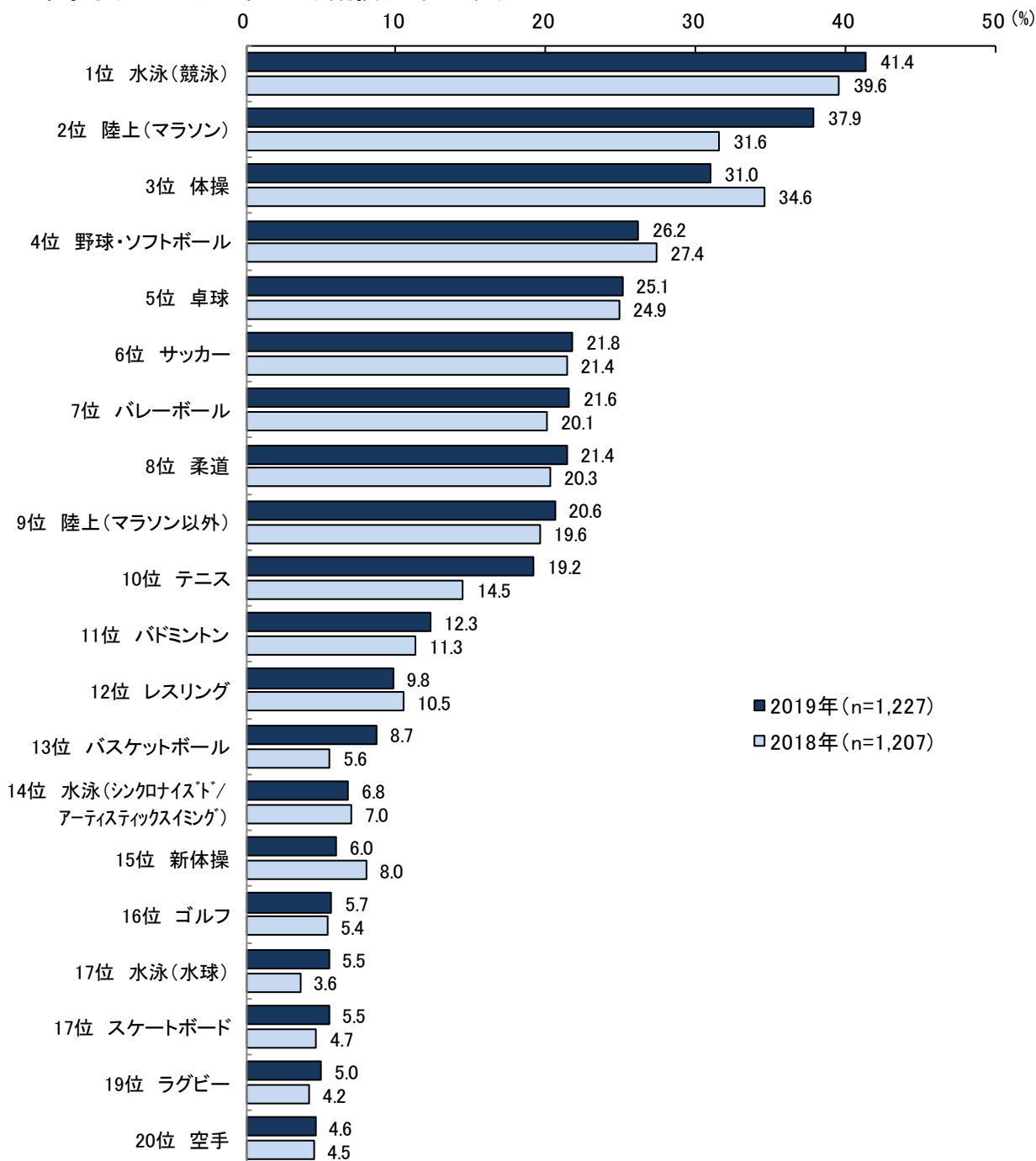
▼東京オリンピックへの関心度(性・年代別) 2019年



- 東京オリンピックで“楽しみな競技”は、「水泳（競泳）」が昨年と同様の1位。昨年から6.3ポイント増加の「陸上（マラソン）」が2位。2018年10月に大迫傑選手が日本記録を更新するなど、日本選手の活躍への期待が高まったものと思われる。3位は「体操」で、昨年から3.6ポイント減少となった。

質問：（回答票）「東京オリンピックではどの競技が楽しみですか。」（複数回答）

▼東京オリンピックで楽しみな競技（上位20位）

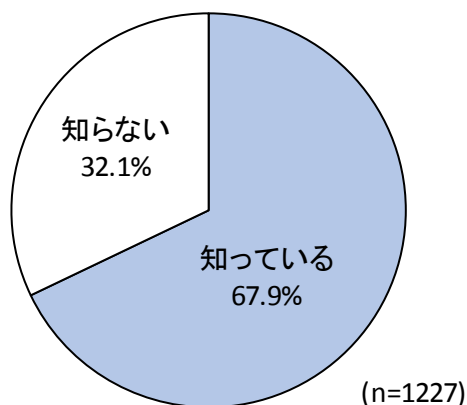


7. ラグビーワールドカップ日本大会の認知度と関心度

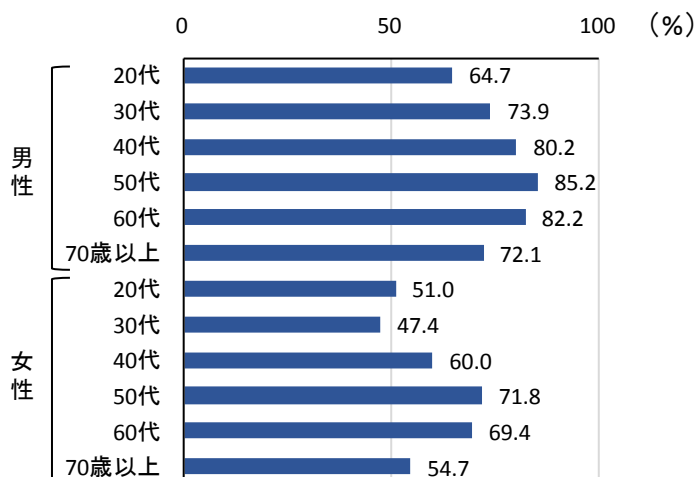
- ・今年秋のラグビーワールドカップ日本大会については、「知っている」が全体で 67.9%。女性よりも男性、若者よりも 40～60 代に多く認知されており、とくに男性の 40～60 代では 8 割を超えている。

質問：「今年の秋、日本でラグビーワールドカップが開催されます。あなたはそのことをご存知ですか。」

▼ラグビーワールドカップ日本大会の認知度



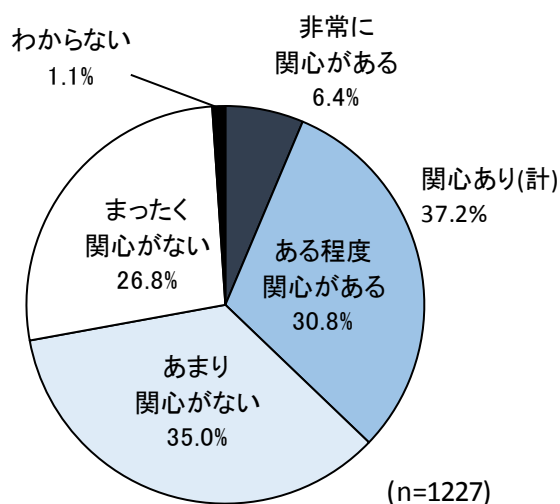
▼ラグビーワールドカップ日本大会の認知度(性・年代別)



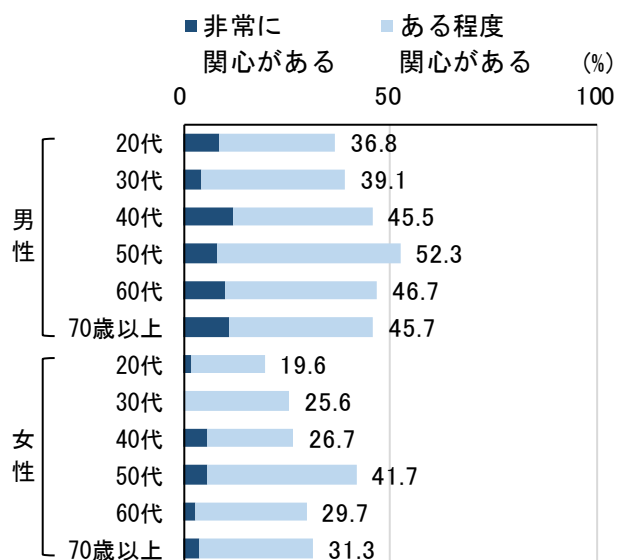
- ・ラグビーワールドカップへの関心度は、『関心あり(計)』が全体で 37.2%となった。男性の 40 代以上では 4 割を超え、とくに 50 代では 5 割を超えたが、一方で女性の 20 代では 2 割に届かない結果となった。

質問：(回答票)「あなたはラグビーワールドカップにどのくらい関心がありますか。」

▼ラグビーワールドカップの関心度



▼ラグビーワールドカップの関心度(性・年代別)



8. 平成の記憶や印象に残っているスポーツの場面

- ・平成の時代におこったスポーツの出来事で、最も印象に残っている場面を、年表を見ながら自由に回答してもらった。その結果、具体的な回答のうち、1位は2018年の「大坂なおみ テニスの全米オープンで優勝」で96人となった。2位には2018年の「羽生結弦 平昌でオリンピック連覇」が71人、3位は2019年の「イチロー 引退表明」で48人となっている。
- ・4位は2011年の「なでしこジャパン サッカー女子ワールドカップ優勝」で37人だった。男女通じて初のワールドカップ優勝という快挙が人々の記憶に残ったといえる。
- ・5位は2013年の「イチロー 日米通算4000本安打」で36人だった。イチローについては、これ以外にも2001年の「メジャーリーグ移籍」や、1994年の「シーズン200本安打」を挙げる回答も多かった。
- ・男女別では、「大坂なおみ テニスの全米オープンで優勝」が男女とも1位となった。また、男性の2位は「イチロー 日米通算4000本安打」である一方、女性の2位は「羽生結弦 平昌でオリンピック連覇」だった。3位には男女とも「イチロー 引退表明」が入っている。

質問：（資料）「平成の時代で、あなたの記憶や印象に最も残っているスポーツの場面を1つだけお答えください。年表に記載されていないことでもかまいません。」

▼記憶や印象に残っているスポーツの場面

	具体的な場面	(n=1067)
1位	大坂なおみ テニスの全米オープンで優勝（2018年）	96人
2位	羽生結弦 平昌でオリンピック連覇（2018年）	71人
3位	イチロー 引退表明（2019年）	48人
4位	なでしこジャパン サッカー女子ワールドカップ優勝（2011年）	37人
5位	イチロー 日米通算4000本安打（2013年）	36人

▼男女別順位（上位3位）

男性	具体的な場面	(n=511)
1位	大坂なおみ テニスの全米オープンで優勝（2018年）	34人
2位	イチロー 日米通算4000本安打（2013年）	28人
3位	イチロー 引退表明（2019年）	21人

女性	具体的な場面	(n=556)
1位	大坂なおみ テニスの全米オープンで優勝（2018年）	62人
2位	羽生結弦 平昌でオリンピック連覇（2018年）	55人
3位	イチロー 引退表明（2019年）	27人

(調査の設計・方法など)

- 調査地域 全 国
- 調査対象 20歳以上の男女個人
- 標本数 4,000
- 抽出方法 層化三段無作為抽出法（住宅地図）
- 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 調査時期 2019年4月5日（金）～14日（日）
- 有効回収数 1,227

問い合わせ先

〒104-8179 東京都中央区銀座5丁目15-8
一般社団法人 中央調査社（会長 大室 真生）
TEL 03-3549-3121
FAX 03-3549-3126
ホームページアドレス <https://www.crs.or.jp>

担 当 調 査 部 鳥 居

※報告書及び詳細なクロス集計表を有料（15,000円（税別））にて頒布しています。